

## 山形県・山形市「緊急事態宣言」における市長メッセージ

本日、国の緊急事態宣言が解除となりましたが、山形市では、3月に入り、新型コロナウイルスの新規感染者が急増しています。特に、ここ数日間は連続してクラスターが発生するなど、非常に深刻な状況となっています。昨日時点の人口10万人あたりの感染者数の直近1週間の割合は、24.8%となり、感染拡大が著しい宮城県の24.63%を上回る事態となっています。

また、山形市を含む村山地域での医療体制のひっ迫度も深刻さが増しています。市内医療機関でクラスターも発生しており、医療体制の崩壊を防ぐためにも、これ以上感染者が増えることは何としても防がなければなりません。

こうした中、本日、山形県では注意・警戒レベルの見直しを行い、県全体の注意・警戒レベルは3のままながら、村山地域はレベル4、山形市はレベル5に引き上げられました。そして、先ほど山形県と山形市は、独自の緊急事態宣言を市内全域に発表したところです。

今回の緊急事態宣言により、市民の皆さんには不要不急の外出自粛をお願いすることとなりますが、山形市からは、次のような点に重点をおいた行動をお願いします。

一つ目として、県境をまたいだ移動はくれぐれも慎重をお願いします。本人だけでなく、家族の移動や県外の人と合う機会も含めてのものです。特に、隣県の宮城県は感染拡大が続いていますので、往来はできる限り控えていただくとともに緊急事態宣言が解除されたばかりの首都圏についても慎重な判断をお願いします。

二つ目は、マスク着用の徹底についてです。これまで感染が確認された方を見ると、何らかの形でマスクを外しているケースが多く見られます。新型コロナウイルスの感染予防にマスクの着用は極めて有効ですので、市民の皆さんにはマスク、特に不織布マスクの着用を徹底していただくようお願いします。

感染拡大の防止を図るためには、市民のみなさん、事業者のみなさんのご協力が欠かせません。

これからの季節は、進学や就職、人事異動などで多くの方々が移動されるため、移動に伴う感染リスクが高まります。また、マスクを外した会食の場面でも、感染リスクが高くなることがわかっています。年度末や花見など、例年であれば、飲食の機会の多い時期となりますが、今年は慎重なご判断をお願いいたします。

繰り返しになりますが、市民の皆さんには、基本に立ち返ってマスクの正しい着用や手指消毒、三密を避けるなどの基本的感染予防策を、どのような場面においても、今一度徹底していただくようお願いします。

また、体調が悪い場合には、軽い症状であっても、無理をしないで仕事や外出は控えていただき、早めに「かかりつけ医」または「受診センター」にご連絡ください。山形市としても、引き続き、保健所を中心に全力で感染防止対策に努めてまいります。

今こそ、市民一丸となって感染防止に取り組む時です。

私たちの行動で、感染の急拡大を食い止めることができるはずです。

ぜひ、ひとりひとりの自覚と行動によって山形市の緊急事態を一日も早く収束させましょう。

令和3年3月22日

山形市長 佐藤孝弘